



寒さもようやく緩み始め、春の足音が少しずつ間近に感じられるようになってきました。子どもたちは少しずつ卒園が近づいていることを感じ、みんなで遊ぶ時間を大切に過ごしています。



今年は例年より多く雪が降りました。園庭にもたくさん雪が積もり、思いっきり雪遊びを楽しむことが出来ました。“かまくらを作りたい！”という声からみんな

で大きなかまくらを作ることになりました。大きな大人用のスコップを身体の子が使うと、自然とその他の子どもたちが雪を固める役をしていました。また、かまくらに穴を開ける時には、家でかまくらを作ったことがある子が崩れないように穴を開ける方法や、どれくらい深く掘ったらいいかななどを友だちに教え、それを聞きながら掘り進めていく様子も見られました。

保育教諭が役割を決めたわけではなく、共通の目標の実現に向け、子どもたちの中で自然とそのような流れになり、協力して作っている姿に成長を感じました。そして3人程が十分に入れる大きさのかまくらを作ることが出来ました。卒園まで残り1カ月となりましたが、このようにみんなで関わってたくさん遊べるようにしていきたいと思います。

給食後の自由遊びの時間の出来事。

A君「ボウリングは点数書かなあかんやんな！」

B君「先生紙ちょうだい！」

A君「紙に名前書くからこの順番で投げよ！」

C君「誰が何点か書くん？」

A君「じゃあ投げた人が待って、次の人の点を書こ！」

B君「じゃあそのついでに倒れたやつを並べたらいいやん！」

自由遊びの時間に、数人がボウリング遊びを始めました。以前、クラスのみんなでボウリング遊びをした際に、保育教諭が壁に紙を貼り、点数を書いて競っていたのを、子どもたちは覚えていました。今回子どもたちは保育教諭に「点数書いて！」と言うのではなく、紙だけをもらい、自分たちだけで遊び始めました。更に全員が遊びに参加しながら順番に点数を書いたりピンを並べたりと、役割を交代しながら遊ぶ方法も考えています。最初から保育教諭に頼るのではなく、自分たちでどうすればよいか考え、それを提案し、子どもたち同士で協力して実行する姿や、「やりたい！」という気持ちだけでなく、遊びが成り立つように役割を分担する姿は、年長組ならではの遊び方です。保育教諭がねらいに沿わせながら関わって遊ぶのももちろん大切ですが、子どもたち同士の遊びを見守り、その中で成長を見つけていくことも大切だと改めて感じた出来事でした。



- 3日(木) ひなまつり
- 18日(金) 身体測定
- 25日(金) お誕生会
- 29日(火) 卒園式
- 30日・31日 希望保育



3月から卒園式練習が始まります。髪の毛の長い女の子はくくってきて下さい。

